



カラダも、ココロも
一刻の贅沢を...

露天風呂からの夕景

大浴場

山路を登りながら、こう考えた
智に働けば角が立つ。
情に棹させば流される。
意地を通せば窮屈だ。
兎角に人の世は住みにくい。

夏目漱石著「草枕」より



TEL.0968-82-4500 FAX.0968-82-4502
〒861-5401 熊本県玉名市天水町小天511-1
■営業時間/AM10:00~PM9:00(入浴最終受付はPM8:30)
<http://www.kusamakura.jp> e-mail:spa-info@kusamakura.jp



草枕温泉 天すい

Kusamakura Onsen Tensui





展望露天風呂

漱石が歩いた小説「草枕」の舞台となった
 ここ、天水。
 有明海から島原半島を見渡す絶景を
 ひとくじめてできるこの小天の丘は
 ゆっくりと時をこえて、訪れる人々の心に
 癒しと安らぎをあたえます。



草枕の湯

泉質 / 45.5℃天然温泉(弱アルカリ単純泉)
 効能 / 神経痛・筋肉痛・関節痛・五十肩・慢性消化器病・痔疾・冷え性・病後回復期等



ロジ風宿泊施設・バーベキュー場・グラウンドゴルフ場

草枕山荘
 KUSAMAKURA SANSO

ご予約・お問い合わせは
 TEL.0968-82-4500



雲仙普賢岳と草枕温泉てんすい全景

みかんと草枕の里 天水 草枕散策



明治の文豪夏目漱石は在熊中、小天温泉を訪れ「山道を登りながら…」の一節で知られる名作『草枕』の舞台としました。物語ゆかりの道は、今も昔ながらの情緒をたたく、桃源郷の観を呈しています。



昭和の名俳優
 りゅう あしゅう
笠 智衆

「日本のおじいさん」で親しまれている笠智衆氏は、生誕地「天水町」の名誉町民であります。



お食事処 観海亭「翠微」

草枕温泉 てんすい

〒861-5401 熊本県玉名市天水町小天511-1
<http://www.kusamakura.jp> fax.0968-82-4502

TEL.0968-82-4500